

トピックス **プラス**

7/23

練習の成果を発揮し上位に入賞

第41回交通安全子供自転車県大会に佐沼地区代表として出場した、北方小と南方小チームの児童が7月23日、市役所迫庁舎を訪れ、市長に大会結果を報告しました。大会には県内から19チーム、76人が出場。12年連続で県大会を制してきた北方小は惜しくも2位となり、南方小が3位に続きました。個人では北方小4年の及川隼人君が優勝しました。



▲市長に大会結果を報告する北方小と南方小の児童

8/3

自慢のおいしさをアピール

「登米おいしいもの市・夏の市」が8月3日、仙台市の勾当台公園市民広場で開催されました。トウモロコシ、キュウリ、シイタケ、油ふなど市内産の農林産物の販売や、イチゴ、トマト、ブルーベリーなどの生ジュースが無料で振る舞われました。また、市内産の環境保全米などが当たる大抽選会も行われ、会場は訪れた多くの人たちでにぎわいました。



▲市内産農林産物が飛ぶように売れたおいしいもの市

8/10

掛け替えのない自然を守るリーダーを

登米市の自然環境を守るために、環境教育リーダーを育成する環境教育指導者研修会が8月10日、迫公民館で開催されました。教職員や行政職員ら約120人が参加。宮教大環境教育実践研究センターの村松隆センター長と、安江正治教授が講師を務めました。参加者からは、活発な意見や質問があり、環境教育への関心の高さが感じ取れました。



▲環境教育リーダーの育成を目指して行われた研修会

8/18

元気ハツラツで仮面ライダーよさこい

石ノ森章太郎ふるさと記念館夏祭りが8月18日、同館駐車場で行われました。仮面ライダーよさこいバージョンコンテストには11チームが出場。そのほか、ミニトマト・スイカの早食い競争や吹奏楽演奏、民俗芸能などで会場は盛り上がりました。主催した同館友の会の会員は「今後もこの祭りを来館者の交流の場としたい」と話していました。



▲仮面ライダーよさこいのコンテストが行われました

紙芝居や絵本で楽しく学習

南方で環境に関する読み聞かせ

環境に関する本の読み聞かせが8月10日、南方総合支所で行われました。この事業は、「みなみかた協働のまちづくり事業」として実施。紙芝居や絵本の読み聞かせは子育て支援ボランティアサークル「あそぼ」、場所の確保は総合支所、そのほか、参加者の取りまとめや参加賞の贈呈などを、南方町公衆衛生組合連合会や教育委員会南方事務所、南方子育てサポートセンターがそれぞれ役割を分担して実施しました。参加した小学生は「紙芝居や絵本、クイズなどで楽しく環境学習ができました」と話していました。



▲紙芝居や絵本のほか、クイズや手遊びで楽しく環境学習をしました



▲猛暑を吹き飛ばすようなハッスルプレーが続出した野球大会

懐かしい仲間と語らいながら

第57回新田地区お盆野球大会が8月13、14日の両日、新田総合運動場と新田中学校を会場に開催され、14チームが参加しました。また、第31回北方地区親善野球大会は14日、光ヶ丘球場と佐沼中学校を会場に行われ、8チームが参加しました。両大会とも地区住民の交流を目的としたお盆恒例の行事で、各会場では暑さを吹き飛ばす熱戦が繰り広げられました。選手の中には帰省中の人もいて、「毎年実家へ帰ってくると大会に出場しています。懐かしいメンバーと野球ができて楽しいです」と話していました。

みんなで一緒に楽しく踊ろう

登米で盆踊り大会

毎年恒例の「とよま盆踊り大会」が8月14日、登米公民館駐車場で行われました。開始時間の午後7時にお囃子の太鼓や笛などが鳴り響き始めると、徐々に参加者が増え、ピーク時には200人程にまで達し、踊りの円形が二重にも三重にもなりました。また、豪華景品が当たるお楽しみ抽選券の配布時には長蛇の列ができ、受け取った人は願いを込めて半券を抽選箱に投じていました。会場は、子どもたちが周囲の大人の振り付けをまねながら、一生懸命踊っている姿が見られるなど、終始和やかな雰囲気でした。



▲大人の振り付けをまねながら踊る浴衣姿の子どもたち